

News Letter VOL.03

発行/2019年5月19日 発行者/広島市植物公園植物友の会事務局 〒731-5156 広島市佐伯区倉重3-495 広島市植物公園内

第1回講習会(苔玉づくり)・観察会(三景園) 参加者募集中!

新しい時代「令和」が始まりました。天候にも恵まれ、植物公園も多くの来園者でにぎわっています。さて、植物友の会では第1回講習会(苔玉づくり)・第1回観察会(案内は次ページ)の参加者を募集しています。どちらも、参加費は実費のみ(先生の講師料は友の会負担)ですので、お得な講座です。席に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

苔玉づくり講習会

日時：令和元年6月8日(土) 午後1時30分～午後3時30分
場所：植物公園展示資料館2階講堂
参加費：1000円(当日会場にて徴収)
申込締切：5月30日(木)



令和元年5月～7月 友の会ボランティアの募集日程

活動日	5月	6月		7月	
原則 第1・第3 火曜日	28日	4日	18日	2日	16日
10:30～ 15:00	ハンギングバス ケット作成ほか	ハギ園等 の除草	針葉樹園 樹木剪定	大温室バーク 堆肥施用・バ ックヤードの鉢除 草	除草等 (内容未定)

- ★4月以降の管理ボランティアは、主に栽培・展示課の職員と一緒に作業します。
- ★当日参加も大歓迎です。作業準備のため、事前に参加表明いただけると助かります。展示資料館1階展示準備室のドアわきのスチール棚に申込票を貼っています。
- ★参加者は、入園料・駐車料金ともに免除です。駐車場・入園口の2か所で会員証を提示して下さい。
- ★作業のできる動きやすい服装でお越しください
(軍手・手袋も持参ください)



4月16日 トサミズキの剪定

第1回野外観察会のご案内（参加締切 6月5日）

広島空港建設にあわせて1993年に整備された県中央森林公園。知名度は低いですが、公園内には三景園（築山池泉回遊式庭園）やフォレストヒルズガーデン（イングリッシュガーデン）なども整備されています。また、平成7年には第46回全国植樹祭式典が開かれ、同園には天皇皇后両陛下（現上皇・上皇后陛下）が御行幸されています。今回の観察会では、中央森林公園全体の設計に携わられた「立花 宏二 先生（IWAD環境福祉リハビリ専門学校）」を講師に迎え、今が見頃のアジサイやハナショウブなどの観賞を行います。

日時：令和元年6月16日（日） 午前10時～午後3時

場所：広島県立中央森林公園・三景園（三原市本郷町）

講師：立花 宏二 先生（IWAD環境福祉リハビリ専門学校みどりの環境学科学科長）

参加費：保険代100円（別途、三景園入園料310円〔65歳以上は無料〕が必要）

集合場所・時間：広島空港1階 国内線到着ロビー（リムジンバス乗り場近く） 10時集合

*今回はマイクロバスの借上げは行いません。

リムジンバスか自家用車で広島空港までお越しく下さい。

参考：バスの時刻表（広島駅15分間隔、バスセンター30分間隔）

広島駅新幹線口 8:45 - 広島空港 9:35

広島バスセンター 8:45 - 広島空港 9:40



申し込み方法：電話、FAX、電子メールなどで植物公園友の会担当まで。6月5日締切。

電話（082）922-3600、FAX（082）923-6100、Mail：hiroshima-bg@midoriikimono.jp

友の会アンケートの結果報告（平成31年1月実施）

はなの輪や友の会行事についてアンケートを行った結果、13名の方から回答をいただきました。はなの輪や友の会活動の方針を考えるうえで大いに参考になりました。簡単に結果を報告します。友の会に対する要望や意見は随時受付していますので、来園時にお声がけください



参加してみたい行事（複数回答可）

観察会	10
例会	8
花さんぽ	6
講習会	5
ボランティア	2

自由記述欄より（内容は事務局で抜粋）

- ・字が大きくなって読みやすくなったが、内容は薄くなっているのでは。
- ・見頃の植物やイベントがわかりやすい
- ・会員の庭や育てている植物の紹介コーナーを作ってほしい
- ・野外観察会で野山を巡るのが楽しみ
- ・栽培の疑問を相談したい（質問箱を）

はなの輪・会報のスタイル

植物公園トピックス 臨時号 「トビカズラとヒスイカズラ」

大型連休の前後にハギ園のトビカズラと大温室のヒスイカズラが相次いで開花しました。植物園以外では、まず見ることのできない珍しい植物で、葛（かずら）と名前にある通りどちらもつる植物です。会報の発行時には、トビカズラは終わっていますが、ヒスイカズラはまだつぼみが多くあるので、観賞することができると思います。

トビカズラ [アイラトビカズラ] *Mucuna sempervirens* Hemsl.

常緑のつる植物で、日本では熊本県の相良と天草、長崎県の九十九島でしか確認されていない希少な植物。相良のものは国の特別天然記念物に指定されています。ブドウの房を思わせる暗紅紫色の大きな蝶形花が、一房に十数個咲く。花には芳香があります。仏教経典に記されている優曇華（うどんげ）の花に例えられています。ハギ園の株は2006年に定植したものが、今年初めて開花しました。

ヒスイカズラ *Strongylodon macrobotrys* A.Gray

フィリピンのルソン島、ミンドロ島などの限られた地域の熱帯ジャングルのみにも自生するつる植物。つるの長さは20m以上に達します。英名はJade Vine（ジェードバイン）で、ジェードは翡翠（ひすい）を、バインはつる植物の意味です。自生地の開発により、個体数の減少が心配されています。2018年の大温室リニューアルオープン時に再移植したところ無事根付き、2019年の大型連休明けに開花しました。



トビカズラ



ヒスイカズラ

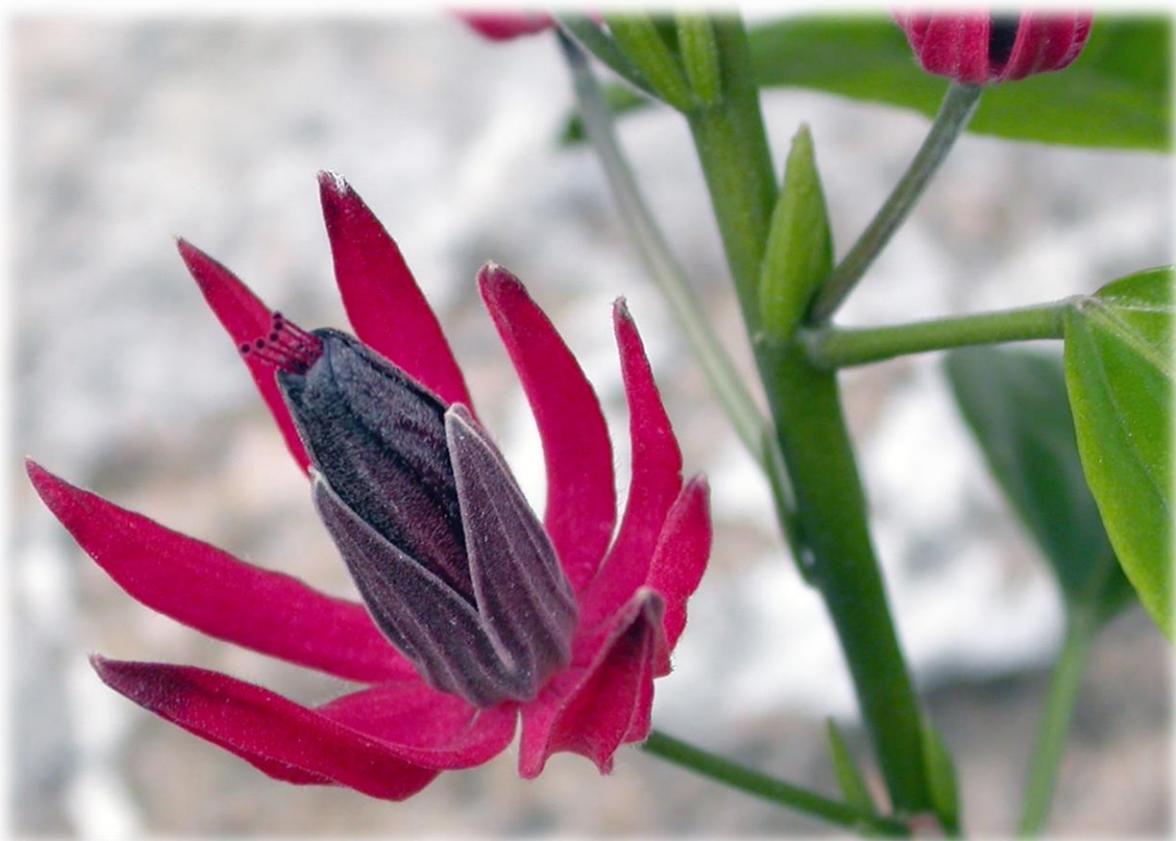
花を撮影して 永山 義博 (2396)

約30年前、僕は会社を定年で辞めた。その後数年経って暇にまかせて「花の写真を撮ろう」と思い、撮り始めた。当初は心の中で「自宅より2キロ以内の花」に絞って撮ったが、やがてほぼ撮りつくした。その後はなし崩しにこの制約を外しているが、植物園についてはプロだし花も沢山あるから絶対僕の花図鑑には入れないと決めていた。そして現在691の花を撮りその写真を保存している。これだけの花の写真を持っている人はあまり居ないと思う。

花の撮影を始めておよそ25年経った平成30年4月、植物公園友の会に加入したのを機にこちらも僅かではあるが僕の花図鑑に収録し始めている。平成31年1月の植物公園友の会で温室案内があり、

その温室でたまたま見たことがある花に出会った。「撮ったことがある」と思い出し花と看板を写真に撮り帰宅して調べると間違いなく撮っていた。撮影場所はうろ覚えだが横川の近くで平成15年に撮った(写真)。もう15年前の話である。

この花は撮影してから約7~8年ほど名前がわからなかった。しかしある時インターネットで検索をしているときにひょんなことで引っ掛かり、調べて花の名を知った次第である。その細かな経緯はもう思い出せない。花の名は「パボニア・インテルメディア」という花である。ただし植物園の看板には「パボニア・グレヒリー」と書いてあったが同じものだと思う



編集後記

永山さん、写真撮影の楽しみについての記事を投稿いただき、ありがとうございました。パボニアの学名についてですが、ご推察の通り「パボニア・インテルメディア *Pavonia intermedia* A. St.-Hil.」と「パボニア・グレヒリー *Pavonia × gledhillii* Cheek」は同じ植物のようです。同じ植物に別の命名者が命名し、複数の名が通用している例はしばしば見られます(シノニム: 同物異名)。パボニアは南アメリカ原産の植物で、この園芸品種(交配種)は1989年にイギリスで作出されています。ブラジリアン・キャンドルの別名もあります。同属の植物にヤノネボンテンカがあります [植物友の会担当 久保晴盛]